

# CHUOH TRY+ANGLE

知っ得通信

2017年2月20日発行

編集・発行：中央教育研究所(株) 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-6 <http://www.chuoh-kyouiku.co.jp/>



中土井鉄信の「地域一番の繁盛塾になるための最強法則」 vol.60

## <先生が頑張るだけでは意味はない!>

2月から3月にかけて、学習塾が一番忙しい時期になります。入試の指導や結果のフォロー、そして、新年度の集客と業務が立てこんでいく時期です。ぜひ、しっかり業務を整理しながら、この時期を乗り切っていきましょう。

さて、今回は、「先生が頑張るだけでは意味がない!」ということを書きたいと思います。「先生やスタッフが頑張るだけでは意味がない」。これは、誤解を生みそうな表現かもしれませんが、もちろん、塾が一丸となって頑張ることは必要です。しかし、肝心な人物が頑張らなければ、元も子もありません。

肝心の人物とは、「生徒」です。先生がどんなに頑張っても、生徒が頑張らなければ、生徒や保護者が望む結果は得られません。私たちの頑張りや生徒の結果が比例するとは限らないのが学習塾なのです。「態度変容」と私は呼んでいるのですが、「他者を行動させる」、「他者の行動を変える」ということに主眼を置いて、私たちは教育サービスを提供しなければなりません。塾にいる間はもちろんのこと、家庭や学校など他の空間においても、我々は生徒に影響力を発揮しなければならないのです。それが、教育サービスというものです。家庭学習や学校での勉強が成績向上・学力向上には欠かせないからです。

塾の成果とは、生徒が達成した結果です。塾が生徒に働きかけ、その生徒の行動が結果を生むという「玉突き現象」が絶えず起こっているのです。

貴塾では、この構造(特異性)を認識しているのでしょうか。この特異性を乗り越えていくためには、「ただ教えるだけ」では駄目なことがお分かりいただけると思います。

### どのようなアプローチをすれば生徒が勉強するのか――

ここに焦点を当てる学習指導が非常に重要です。もっと言えば、あれこれ考えず、これだけに焦点を当てていけば、一定の成果は上げられるのです。

まとめて言うなら、モチベーションの向上です。生徒の学習に対するモチベーションを高める活動が塾内に満ちているのか。この密度を高めることが大切です。そのための承認機会は以下のようなものになります。

- ・授業中の承認
- ・承認掲示
- ・お知らせ掲示
- ・学習ガイダンス
- ・目標設定面談

叱咤激励も時には必要ですが、そればかりでは通用しません。それどころか、かえって意欲を削いでしまいます。母親の「勉強しなさい!」と同じことを塾がしてはいけません。

基本は授業ですが、すべての先生が素晴らしい授業を毎回できるとは限りません。しかし「承認」することはできます。生徒を認める声かけや励ましを授業内で元気よく行ってください。

また、掲示物などでも生徒の結果を「承認」することはできます。ここでは、「生徒の名前」をたくさん出してください。模擬テストや確認テストの結果はもちろんのこと、無遅刻・無欠席や検定の取得、今月の新しいお友達など、生徒の名前をあらゆる機会に掲示していきます。

学習ガイダンス、目標設定面談は一連の流れでやると効果的です。まず、目標を持ってもらうために、お知らせ掲示等を使って、学校紹介、入試制度、職業紹介など、生徒の勉強の目標となる内容を校舎の随所に貼っておきます。

そして、学習ガイダンス等で「大きな話」(将来のこと、受験のこと)を話し、生徒が目標を持った方が良いんだということを実感させ、生徒面談でその話を個々に落としこんで具体性を持たせ、具体的な目標を作っていくのです。目標が具体化されれば、されるほど、生徒のモチベーションは上がっていくものです。

### 学習塾の玉突き現象

#### 教師の生徒に対するモチベーション向上のアプローチ

- 生徒の態度変容
- 生徒の結果向上
- 塾の成果

いかがでしょうか。生徒に頑張ってもらおう仕組みを貴塾でしっかり作ることは非常に重要なことです。生徒の態度変容をどう起こすか、そして、どうそれを継続させるか、ぜひ考えてみてください。

### 【編集後記】 MBAセミナーのDVD発売のお知らせ

2016年をもって終了したMBAセミナーの最終回(大阪会場)を編集したDVDが、株式会社みんなのコピーさんから発売になりました。弊社は、映像のコンテンツを提供しています。中土井鉄信が、今、教育界で大注目の「アクティブ・ラーニング」について語っています。ご興味ある方は、まずはこちらをご覧ください。

→<http://copymarketing.net/juku/mba-lastseminar/index.html>

弊社でもお問合せ等々、承っています。

お問合せはコチラ→TEL045-651-6922

Mail: [mailadm@management-brain.co.jp](mailto:mailadm@management-brain.co.jp)

## 数字でみる学習塾経営・業界のトレンド Vol.24-1

今回は少々、ピロウなお話を…。

昨年11月、文科省がかなり面白い調査の結果を発表しています。

「公立小中学校施設のトイレの状況調査」と題する調査ですが、全国の公立の小中学校、義務教育学校、中等教育学校前期課程の校内にあるトイレの、「洋便器」と「和便器」の割合(2016年4月1日現在)を調べたものです。

発表では触れていませんが、おそらくは「大便器に限って」でしょう。

発表によると該当する全学校にある便器の総数は139万7,019個。

ものすごい数ですね。うち洋便器は60万5,322個、和便器は79万1,697個。洋便器の割合は43.3%、和便器の割合は56.7%ということになります。

都道府県別に洋便器率の高いところを見ていきますと、最も高いのは神奈川県で58.4%、2番目は沖縄県で54.7%、3番目は山梨県で54.4%。

逆に低いのは、山口県が最低で26.7%、次が島根県で30.0%、その次が長崎県で30.3%。

以下、北から順に記しておきましょう(右の順位は洋便器率の高い順)。

都道府県別 洋便器率			都道府県別 洋便器率		
北海道	51.3%	6位	滋賀	40.6%	24位
青森	37.3%	34位	京都	39.3%	28位
岩手	40.3%	26位	大阪	36.8%	36位
宮城	38.4%	29位	兵庫	46.1%	11位
秋田	44.0%	18位	奈良	34.9%	38位
山形	41.2%	21位	和歌山	31.1%	43位
福島	36.1%	37位	鳥取	42.7%	19位
茨城	49.2%	7位	島根	30.0%	46位
栃木	38.4%	29位	岡山	38.3%	31位
群馬	46.1%	11位	広島	32.4%	40位
埼玉	44.1%	17位	山口	26.7%	47位
千葉	45.3%	14位	徳島	32.2%	41位
東京	54.2%	5位	香川	41.1%	22位
神奈川	58.4%	1位	愛媛	38.1%	32位
新潟	46.6%	9位	高知	33.5%	39位
富山	54.3%	4位	福岡	48.9%	8位
石川	44.2%	16位	佐賀	37.1%	35位
福井	46.3%	10位	長崎	30.3%	45位
山梨	54.4%	3位	熊本	40.4%	25位
長野	45.7%	13位	大分	45.0%	15位
岐阜	40.0%	27位	宮崎	31.4%	42位
静岡	37.4%	33位	鹿児島	30.5%	44位
愛知	40.9%	23位	沖縄	54.7%	2位
三重	41.5%	20位			

トップとラストとでは31.7ポイント差。県によってずいぶん差があるものですね。

意外なのは沖縄県を除き、外国人観光客が多く訪れる京都府、奈良県、広島県、長崎県などの洋便器率が比較的低いことですが、これはどうしてなのでしょう？ちょっと不思議な気がします。

それはともかく、発表には学校の設置者別(=都道府県教委別あるいは市町村教委別)の洋便器率も掲載されていますので、こちらについても目立つところだけ紹介しておきましょう。

### 【洋便器率100%の設置者】

北海道	鹿部町・蘭越町・南幌町・雨竜町・中川町・美幌町
青森県	東通村
岩手県	色麻町
秋田県	大潟村
山形県	山形県
福島県	檜枝岐村・西会津町・葛尾村
山梨県	道志村
長野県	佐久穂町
岐阜県	白川村
福岡県	吉富町
佐賀県	玄海町
大分県	姫島村
沖縄県	大宜味村

### 【洋便器率15%未満の設置者】

福島県	喜多方市(13.4%)
埼玉県	小川町(12.4%)
長野県	北相木村(9.3%)
岐阜県	八百津町(10.9%)・御嵩町(14.8%)
静岡県	静岡県(14.3%)
山口県	光市(10.0%)
香川県	三豊市観音寺市学校組合(13.7%)
愛媛県	愛媛県(13.9%)
福岡県	添田町(12.3%)・大任町(14.7%)
鹿児島県	大和村(14.3%)

さて今回、なんでこの話を取り上げたのか。

わたしはかつて、こんな方程式を提唱したことがあります。

#### 塾の集客力

＝「立地」×「施設・設備・備品」×「商品・企画」×  
「料金」×「広告・知名度」×「講師・職員」×「生徒」  
(うち、講師・職員の集客力)  
＝ tuition × navigation × motivation

「立地」ほかすべての項目において市場内のトップ塾を「1」と見なしたうえで、それぞれの項目に妥当と思われる自塾の数値

# 数字でみる学習塾経営・業界のトレンド Vol.24-2

をあてはめていけば、自塾の集客力がわかるという意味です。  
 例えば「立地」は0.8、「施設・設備・備品」は0.7、「講師・職員」は1.2…、という具合にです。  
 とはいえ、もともと各項目についての「物差し」となる絶対的な基準がありませんので、実際の数値を入れるのが不可能なことはお分りでしょう。  
 言わんとしたのは、塾の集客力というのは単純に決まるものではなく、さまざまな要素が組み合わさって決まってくるということにほかなりません。

で、トイレです。  
 公立の小中学校の洋便器率は以上の通りでした。  
 これを高いとみるか低いとみるかは別にして、公立の学校でさえここまで洋便器率が普及してきました。  
 御社の教室のトイレはどうなのでしょう？  
 われわれは客商売。細かいところまで目を行き届かせないと、なかなか評価されません。  
 「施設・設備・備品」のうち、トイレはそうしたものの代表です。

新年度を前にしてもう一度、トイレをはじめとする御社の「施設・設備・備品」をしっかりと点検していただけたらと思います。

PS・コンサルティング・システム 小林 弘典

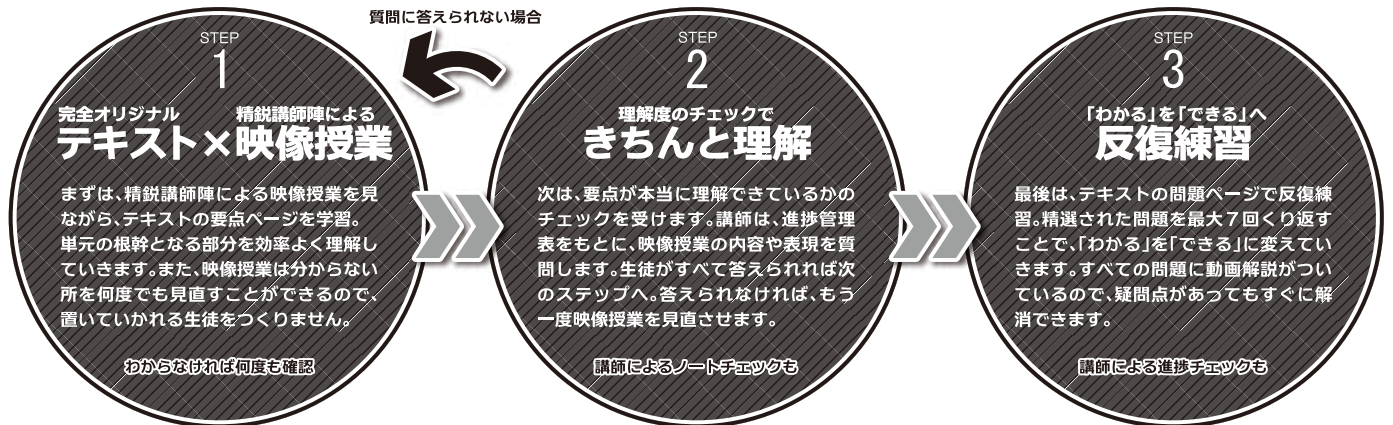


Change your life.

## 集団個別指導型システム TsuX (ツークス)

### 勉強が苦手な生徒でも「成績が伸びる」学習法。

**名前の由来**  
 偉大な教育者、吉田松陰にあやかり、松陰の言葉「心ある立派な人の務めは、自身の身を修め、まごころを尽くすことにある」から命名。そこに「学び尽くす」「理解し尽くす」の意を込めました。また、アルファベットの「X」には「最後を締める」といったニュアンスがあるため、ローマ字表記で「尽くす」の意を強調させています。



#### 集団個別指導を可能にする

POINT 1

#### 5教科すべてオリジナルテキスト

1.Repeat	徹底した反復練習	●適切な問題量・設問数 ●厳選された質の良い問題
2.Speed	時間を意識させる	●大問1つが5分程度で解ける問題 ●リズムにのれる難易度
3.Simple	多重の意味を持たない	●1つの問題に多くの要素を盛り込まない ●基礎・基本が身につく問題 ●スモールステップ

POINT 2

#### テキスト制作者が映像を監修

#### 全要点、全問解説の映像授業

すべての要点・問題ページに精鋭講師陣による動画解説がついています。テキストを制作した講師が解説を行うため、問題を読み解く視点、解法の流れ、関連知識といった入試に必要な力を養うとともに、細かなテクニックもテキストの内容にあわせて説明していきます。

学習塾だから成績が伸びる「型」があります。

※詳しくはお問合せください。



グローバル化が進む日本社会を前にして、以前は「グローバル化の到来は避けられない」といやいやだが対処しなくては仕方がないという運命論めいた発言が目につきました。最近では「(グローバル化の波は)現在の自分の殻を破る契機であり、ブラッシュアップしてくれる機会でもある」というようなグローバル化を前向きに捉えるべきであるという認識が少しずつ広がってきているように思われます。この微妙な変化の背景にあるのは何かを考えてみましょう。

日本人は与えられた問題に対しては、世界のどの国の人たちよりも誠実に解決に努めていると自負するところがあります。日本人の問題解決能力は世界でも一、二と高い評価を受けていることも確かです。ただ、与えられた問題を解決する能力だけではこれからの世界を生き抜くことは難しいという思いも徐々にですが生まれてきているわけです。何故なら、これからの時代は「これが問題ですよ」と誰かが提供してくれる時代ではないからです。提供してくれないのは、何が問題なのかが見えにくくなっている時代となってきたからでもあるでしょう。

こういう時代状況を反映して、「これからの人間は、柔軟な思考力と豊かな想像力、創造性と論理的思考力に優れていることが大事である。そして、学問に対する探究心と深い洞察力がなくてはならない」という発言が日本の大学からもされるようになってきました。

2020年度より大きく変わる新しい大学入試制度では「思考力・判断力・表現力」が重視されています。そこで出される問題は「知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し成果等を実現するための力を評価する、PISA型の問題を想定」しているということです。記述式問題では「答えを出すための『方法や考え方を説明する』ことが求められる」ことになるわけです。そして、大学に入ってから問題は問題解決能力はもちろん、問題は何かを見つける問題発見能力、問題はこれだとして、論理的にそれを詰めて検証していく問題設定能力が問われることになります。正解のない時代においては「自分なりの最善解」を求めていく姿勢がないと生き残れないからです。新しい大学入試で求められていることは、社会全体がこれからの若者に期待する要素でもあるのです。

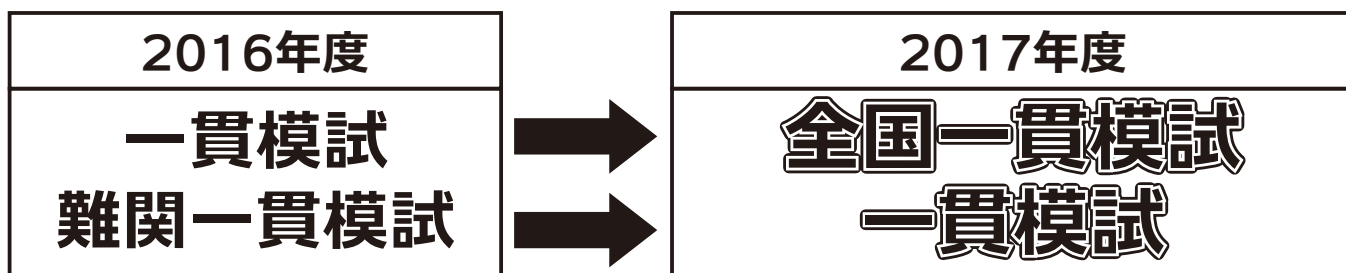
来春の公立中高一貫校受検生は新しい入試制度下で大学を受けることになります。自ら問題を設定・発見そして解決する能力を早い段階から磨いていくこと、そのために自ら探究し、考察する姿勢を身につけておくことは、大学入試への対応という意味はもちろん、その後の人生においても大切なことです。公立中高一貫校の探究や体験を大事にし、その結果をレポートにまとめたり、さらには自分自身の考えを他者にきちんと分かるように伝えるコミュニケーション力を錬磨する教育実践はその流れに沿ったものと言えるでしょう。12歳から18歳までの人生で最も多感な時期に中高を一貫して学ぶことがいかに大事かということも広く知れ渡ってきました。

中高一貫教育という環境を入手したい場合、首都圏をはじめ中学入試の盛んな地域では、私国立中学入試に挑戦することでもそれを実現することができます。ところが、それ以外の地域では、私立中学の数も少なく、国立大学の附属も併設の高校を持っておらず(高校を併設しているのは、地方では石川県の金沢大学附属、広島県の広島大学の各附属ぐらいです)、公立中高一貫校の受検を通してしか中高一貫教育という環境の入手は難しいということなのです。公立中高一貫校への注目度が近年高まってきているのはあたりまえのことと断言していいでしょう。

立地によって様々な事情があると思われませんが、2018年入試に向けて各地域の公立中高一貫校への注目度がさらに高まることは間違いありません。注目度が高まれば、その分入試は厳しくなるでしょう。当然ですが、受検準備の周到性が問われてきます。これからの受検に向かって、基本的な知識を獲得し、計算能力を磨いておくことはもちろん、問題演習を通じて考える習慣を身につけ、思考力を磨くことが大事になってきます。最終的には、適性検査型の問題対策及び演習などをきちんとした積んでおくことが合否を分けることになると思われます。

公立中高一貫校対策センター(株式会社クロノクリエイト)  
<http://www.e-canpass.com>

### 模試の名称が変わりました。



お申込みの際はご注意ください。